令和５年度　准校長あいさつ（web 版）

今年度より新しく、准校長（高等部の校長）として着任しました、
南　貴子（みなみ　たかこ）と申します。

　新型コロナウイルス感染症対策を講じての教育活動は、引き続き行っていく必要がありますが、令和５年４月１日からは、マスクの着用は基本的に求めないこととなりました。これまでの３年間は児童生徒のみなさんも教職員も、マスクをして顔が半分見えない中での生活であったため、マスクを外した顔を見て「はじめまして」「ひさしぶり」と感じることもあるかと思いますが、みなさんの笑顔いっぱいの表情が、徐々にいたるところで見られたらいいなと思っています。

　さて、茨木支援学校　高等部では、以下の３点の目標をあげております。

１．　子どもの障がいに応じた環境を整備し、安心安全に過ごせるようにする。その中で、高い人権意識を基礎とし、自己肯定感を育み、お互いを認め合う人間関係を構築できる場となる。
２．　保護者と日々の連絡を密にして、保護者が安心して教育をゆだねることができるようにする。
３．　一人ひとりの社会参加・自立に向けて必要となる能力や態度を身に着けられるようにする。卒業後の余暇活動充実に向けての支援をする。

　高等部での3年間は、いよいよ、社会へ飛び立つ準備の大詰めといってよい期間となります。
　18歳の誕生日からは成人となることから、その人にふさわしい自立を実現させるため、人生をより豊かに過ごすための要素を、この期間にしっかりと定着させる必要があります。
　自分の得意を見つけて良いところを伸ばすこと、自分の思いを自分なりの方法で伝え、周りの人に協力してもらいながら生活ができるようになること、また、社会のきまりやルールを守って、いきいきと働くことができるようになることなど、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程）の向上をめざした教育を、保護者のみなさまや地域の方々と共に展開していきたいと思います。
　ぜひ、本校教育活動についての忌憚ないご意見をお聞かせいただき、一緒に子どもたちを支え、育てていただきますよう、お願いいたします。

　「明るく、強く、清らかに、生き抜く力を培う学校」として、大峠校長とベクトルを合わせて。ここで学ぶ子どもたちを中心とした学校づくりに邁進してまいります。
　どうぞよろしくお願いいたします。

令和５年４月１日
大阪府立茨木支援学校
准校長　南　貴子